

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農林水産総務課長 小中靖子	電話番号	0852-22-5107
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	農林水産関係振興プラン等の進行管理事務		
目的	(1) 対象	生産者、生産団体、県民、市町村	
	(2) 意図	農林水産業の振興、農山漁村の活性化に向けた効果的な施策の展開及び進行管理の徹底により持続的に発展する島根の農林水産業・農山漁村の実現を目指す。	
事業概要	平成28年3月に策定した「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」の第3期戦略プラン（H28～31）において、「農業・農村戦略プラン」35プロジェクト、「森林・林業戦略プラン」21プロジェクト、「水産戦略プラン」10プロジェクト、「分野連携・共通戦略プラン」4プロジェクトを設定し、地域の関係者などが一体となって施策や取り組みを展開。 各プロジェクトではそれぞれ成果指標を設定し、効果的な施策展開と徹底した進行管理により、第3期戦略プランを着実に推進し、島根の農林水産業・農山漁村の持続的発展を図る。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 進行管理の回数	目標値		4.0	4.0	4.0	4.0	回
		取組目標値						
	式・定義 当該年度計画策定1回、中間期1回+年度末実績1回+外部機関評価（各審議会）1回	実績値	4.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	621	2,447
うち一般財源 (千円)	621	2,247

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基じた現状）

第2期戦略プラン（H24～27年度）を構成する76プロジェクトの成果指標197項目のうち、47%（92項目）が目標達成、72%（142項目）が概ね達成（8割以上達成）となった。 H27年度は、次期戦略プランの策定を見据え、プロジェクトの取り組み実態を、より把握しやすい進行管理様式へ変更した。 今年度からスタートした第3期戦略プラン（H28～31年度）の推進にあたっては、本庁各課、出先機関等とも連携しながら、各プロジェクトの進行管理を実施することとしており、9月には中間期の実績を取りまとめ予定である。
--

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

各プロジェクトでは、前年度までの成果や課題の整理等を踏まえ、H27年度の実施・行動計画に適宜反映させ、取り組みを展開。 また、プロジェクトの現状や課題等の状況把握等のため、各地域で農林水産ミーティングを開催し、生産者等と意見交換も実施。 その結果、第2期戦略プランの最終実績としては、成果指標の197項目のうち、72%の項目で目標を概ね達成することができた。 主な成果としては、農業では新規就農者の増加、林業では原木集積拠点施設整備等による県産原木自給率の向上、水産業では大規模改修漁船による燃料等のコスト削減や漁獲物の高鮮度化により収益性の改善、農林水産物の6次化では、国、県事業を活用した取り組みの本格化などがあげられる。 また、第3期戦略プランでは、その着実な推進に向け、県全域プロジェクトと地域プロジェクトとの統一的な成果指標の設定による連携強化体制や施策反映に向けた仕組みの導入、進行管理様式の変更をした。
--

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 第3期戦略プランから県共通プロジェクトと地域プロジェクトとの統一的な成果指標設定による連携強化や施策反映の仕組み等を導入したが、成果指標の達成等、プランの着実な推進に向け、より効果的な進行管理手法や体制等を充実させていく必要がある。
②困っている状況が発生している「原因」
③原因を解消するための「課題」

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

第3期戦略プランでは、各プロジェクトの実践に取組む関係団体、関係各課、出先機関等との情報交換・共有を図りながら、県共通プロジェクトと地域プロジェクトとの連携強化や課題解決に向けた施策反映により、プランの着実な推進を図る。
--

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）

--